

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 [¹¹ C]BU99008 PET トレーサーを用いた神経・精神疾患への脳病態研究
	●研究の対象 2012 年 1 月～2023 年 3 月に[¹¹ C]DPA713 PET と [¹⁸ F]BCPP-EF PET 検査を受けられた方 30 名
	●研究の目的 現在、認知症・精神疾患の病因物質であるアミロイド蛋白やタウ蛋白などが PET による画像検査で可視化できるようになってきました。さらに、これら病因物質によって、神経障害のもととなる神経炎症が引き起こされ、同時に、エネルギー代謝の源であるミトコンドリアの機能が変化していることが死後脳の解析でわかってきました。しかし、認知症・精神疾患の患者さんの脳における神経炎症（[¹¹ C]DPA713 PET と [¹¹ C] BU99008 PET で測定）の広がりや、ミトコンドリアの障害（[¹⁸ F]BCPP-EF PET で測定）との関係には不明な点が多くあります。この研究では、[¹¹ C]DPA713 PET と [¹⁸ F]BCPP-EF PET 検査を受けられた健常ボランティアさんと認知症・精神疾患の患者さんの画像データとを比較検討することで、認知症・精神疾患の脳で生じている神経炎症の神経変性（異常）への病態解明を目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2028 年 3 月末まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	●他の機関に提供する場合には、その方法 共同研究機関へのデータの提供は、記憶媒体（DVD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。 共同研究機関への血液検体の提供は、冷凍保存のうえ専用便で送付し、研究期間終了後の所定の期間保存したのち破棄します。
《利用し、又は提供する試料・情報の項目》	●研究に使用する試料・情報 情報：脳画像、血液データ
《利用する者の範囲》	●機関名および責任者名 浜松医科大学 生体機能イメージング研究室 尾内 康臣 浜松光医学財団 浜松 PET 診断センター 服部直也 静岡てんかん・神経医療センター 脳神経内科 小尾智一
《外国にある者に対する試料・情報の提供》	外国にある者へ試料・情報は提供しません。
《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》	浜松医科大学 生体機能イメージング研究室 尾内 康臣
《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

《資料の入手 または閲覧》	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
《情報の開示 》	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ 先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 生体機能イメージング研究室 担当者： 寺田達弘、尾内康臣 TEL： 053-435-2466 E-mail： tatuhiro@hama-med.ac.jp, ouchi@hama-med.ac.jp